

2020年度  
環境活動レポート

(対象期間：2020年1月～2020年12月)

発行年月日：2021年7月1日

株式会社 山下組

# 目 次

1	環境方針	P.2
2	事業概要&認証登録範囲	P.3
3	実施体制	P.4
4	環境目標	P.5
5	環境活動計画	P.6
6	環境目標の実績	P.7
7	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	P.9
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	P.10
9	代表者による全体評価と見直し結果	P.10

# 1 環境方針

## <環境理念>

株式会社山下組は、全社員が環境問題を認識し、建設業の事業活動を通じて、社員一丸となって環境負荷の低減に取り組んで行くことを誓約します。

## <行動指針>

### 1、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。

電気・LPG・ガソリン・軽油・灯油の消費量の削減を徹底

### 2、一般廃棄物・産業廃棄物の削減に努めます。

事務所の一般廃棄物・現場の産業廃棄物の排出量の削減を徹底

### 3、水の適正な利用と排水量の削減に努めます。

事務所における節水を徹底

### 4、環境に配慮した工事を推進します。

周辺環境に配慮した施工を提案

### 5、グリーン購入の推進に努めます。

再生資源・資材を積極的に購入

### 6、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守します。

関係する法令の理解と遵守の徹底

### 7、地域の環境保全活動に積極的に参加します。

地域の清掃活動の積極的な参加

### 8、継続的な改善に取り組むことを誓約します。

制定日：平成25年 7月31日

改定日：令和 2年12月 1日

株式会社 山下組

代表取締役社長 菅原 陽一

## 2 事業概要 & 認証登録範囲

### 1 名称及び代表者名

株式会社 山下組  
代表取締役社長 菅原 陽一

### 2 所在地

本社 岩手県花巻市上根子字石川原78番地1  
TEL 0198-22-2111  
FAX 0198-22-2110

### 3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 菅原 健太  
TEL・FAX 本社と同じ

### 4 事業活動の内容

土木工事・建築工事・とび土工工事・舗装工事

### 5 許可の内容

建設業許可 岩手県知事(特-24)第840号  
産業廃棄物収集運搬業 第00302154769号(自社分のみの収集運搬)

### 6 事業規模

資本金 7,000万円

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	百万円	2254	773	1744
従業員	人	36	36	39
事務所床面積	m <sup>2</sup>	478.6	478.6	478.6
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	499.2	499.2	499.2

### 7 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

### 8 営業範囲

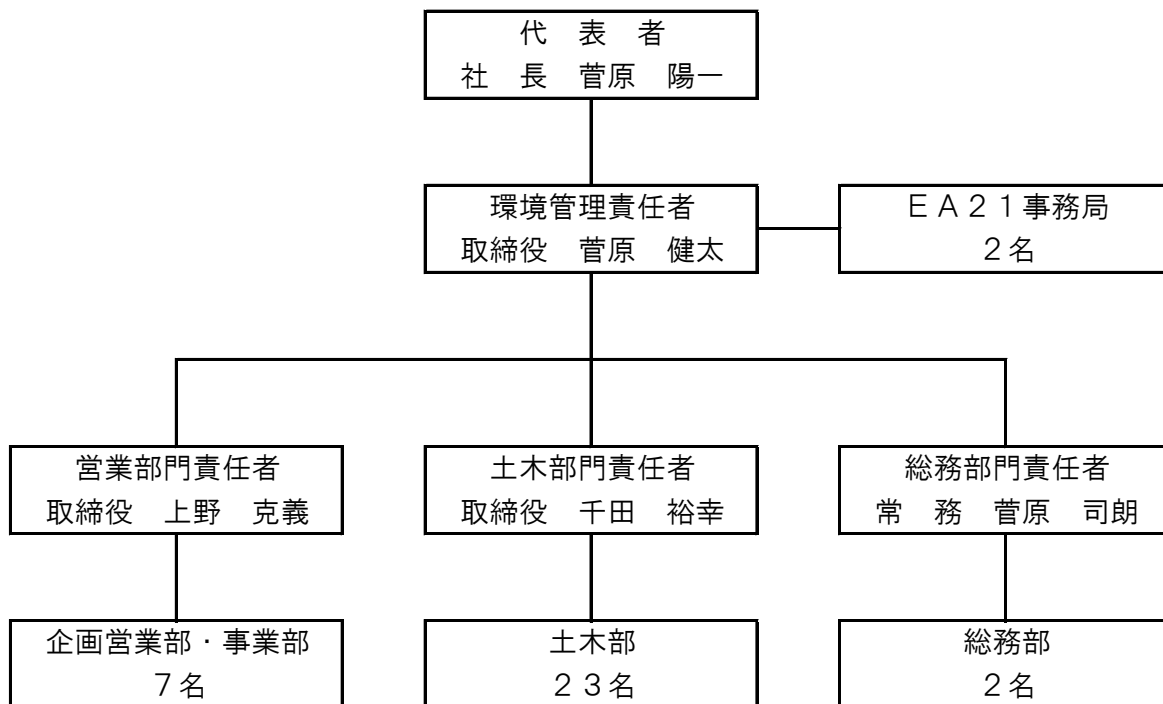
岩手県全域及び宮城県内の一部市町村

### 9 社歴

大正 9年 4月 1日 創業  
昭和30年 4月 2日 建設業登録 資本金100万円  
昭和37年 4月 2日 菅原万次郎 代表取締役社長に就任  
昭和40年11月10日 資本金 400万円に増資  
昭和47年12月27日 資本金 1,000万円に増資  
昭和51年12月 1日 花巻市不動に本社移転  
昭和52年 5月17日 資本金 4,000万円に増資  
昭和53年12月 5日 資本金 5,000万円に増資  
昭和61年10月16日 資本金 7,000万円に増資  
平成 5年 2月17日 菅原 一司 代表取締役社長に就任  
平成16年 2月10日 菅原 一司 代表取締役会長に就任  
菅原 陽一 代表取締役社長に就任  
平成19年10月15日 花巻市上根子字石川原に本社移転

### 3 実施体制

#### 1 組織図



#### 2 役割・責任・権限表

役割	責任 ・ 権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を任命し、方針(環境理念・行動指針)を決定する</li> <li>取組みに必要な資源(人員・設備・費用)を用意する</li> <li>全体の評価と見直しを行う</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者に代わってエコアクション21の構築・運用を行う</li> <li>代表者に取組み結果を報告する</li> <li>環境活動レポートを作成し、公開する</li> </ul>
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐する</li> <li>必要なデータの集計・分析を行う</li> <li>各部門の取組み状況を把握し、環境管理責任者に報告する</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>各業務で取組みを推進・実施し、社員の取組みをチェックする</li> <li>必要な教育訓練を計画・実施する</li> <li>環境管理責任者に報告し、是正・改善処置を行う</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められたことを守り、部門責任者の下で取組みを徹底して行う</li> <li>エコアクション21に関する教育訓練やセミナーを受講し、理解を深める</li> <li>地域貢献活動に積極的に参加する</li> </ul>

## 4 環境目標

### 1 環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

本社

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	60,316	53,476	48,736	40,468
一般廃棄物排出量	kg	1,600	1,280	1,660	2,510

注：二酸化炭素排出に係る電力の排出係数は、東北電力の2011年度実排出係数0.547kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用して算定

2019年度からは東北電力の2017年度調整後排出係数0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用して算定

総排水量の項目が無いのは、当社では地下水をポンプで汲み上げて利用しており、計測不可能な為

現場

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	334,134	422,385	311,358	420,540
産業廃棄物排出量	t	12.96	15.20	2.83	1.69

注：産業廃棄物は焼却+最終処分数量で、集計期間は4月～3月

2019年度からは最終処分の数量のみで集計

### 2 環境目標の設定

当社では、2018年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(2018年度)比の削減(増加)率(%)

項目	単位	基準年	中期目標(内単年度目標)		
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	基準値	2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
一般廃棄物排出量	kg		2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
産業廃棄物排出量	t		0.00t	0.00t	0.00t
環境配慮工事の推進	件		2件以上	2件以上	2件以上

注：総排水量の削減については、地下水をポンプで汲み上げているので電気量の削減により管理する

## 5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づいて二酸化炭素・廃棄物を削減し、環境目標を達成する為に社員一丸となって取り組んでいます。取組内容は表3のとおりです。

表3 環境活動計画の主な取組内容

項目		取組内容
二酸化炭素	電 気	昼休み時間は必ず消す
		使っていない部屋の照明は必ず消す
		退社する時はパソコンの電源を必ず切る(モニターも含めて)
		冷暖房の設定温度を守る(冷房：28℃ 暖房：25℃)
	ガソリン 軽 油	車両のアイドリングストップを徹底する
		急発進・急加速・空ぶかしをしない
		冷暖房を控えめに使う
		必要の無い荷物は積まない
	灯 油 L P G	冷暖房の使用条件を守る(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下)
		クールビズ・ウォームビズを徹底する
廃棄物	一般 廃棄物	書類の内容を見直して枚数を少なくする
		両面印刷・両面コピーを徹底する
		裏紙の使用を徹底する
		スキャニングを徹底して書類をデータ化し、社内で共有する
	産業 廃棄物	各種類の産業廃棄物の分別を徹底する
		一般のゴミが混ざらないよう、定期的にチェックする
適切に処理するよう、マニフェストの管理を徹底する		
排 水 量	節 水	水を出しっぱなしにしない
		蛇口・配水管の水漏れがないか確認する
		節水の表示をする
環境配慮工事の推進		周辺環境に対して、施工上の配慮事項を提案する
グリーン購入		排ガス対策・低騒音・低振動型の重機を使用する
グリーン購入		消耗品・事務用品はエコ商品を優先して購入する
社 員 教 育		朝礼・掲示板・メールを利用して社員に周知し、理解を深める
		環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める
地 域 貢 献		地元の学生のインターンシップを受け入れる
		地域や各協会の清掃活動等に積極的に参加する

## 6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。今回は、2020年度全体（2020年1月～12月）の実績と評価結果について、表4のとおり報告致します。  
 なお、総量のほかに補助指標として「総売上高比」でも達成状況の確認を行います。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

○：達成 ×：未達成 CO<sub>2</sub>：二酸化炭素排出量  
 総売上高比：売上百万円当たりの二酸化炭素排出量

本社

項目	単位	基準値	2020年度			達成状況
			目標	目標値	実績値	
電力(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	18,106	3.0%削減	17,563	16,395	○
総売上高比	kg/百万円	8.03		7.79	9.40	
LPG(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	9,986		9,687	12,463	×
総売上高比	kg/百万円	4.43		4.30	7.15	
ガソリン(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	22,667		21,987	10,310	○
総売上高比	kg/百万円	10.06		9.75	5.91	
灯油(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	1,863		1,807	1,300	○
総売上高比	kg/百万円	0.83		0.80	0.75	
CO <sub>2</sub> 合計	kg-CO <sub>2</sub>	52,621		51,043	40,468	○
総売上高比	kg/百万円	23.35		22.65	23.20	
一般廃棄物排出量	kg	1,280		1,242	2,510	×
総売上高比	kg/百万円	0.57		0.55	1.44	

現場

項目	単位	基準値	2020年度			達成状況	
			目標	目標値	実績値		
ガソリン(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	64,650	3.0%削減	62,710	47,509	○	
総売上高比	kg/百万円	28.68		27.82	27.24		
軽油(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	339,025		328,854	360,471	×	
総売上高比	kg/百万円	150.41		145.90	206.69		
灯油(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	12,828		12,443	12,560	×	
総売上高比	kg/百万円	5.69		5.52	7.20		
CO <sub>2</sub> 合計	kg-CO <sub>2</sub>	416,503		404,008	420,540	×	
総売上高比	kg/百万円	184.78		179.24	241.14		
産業廃棄物排出量	t	0.00		最終処分量	0.00	1.69	×
総売上高比	t/百万円	0.0000		0.00t	0.0010		
環境配慮工事	件	2件以上		2件以上		2件	○

注：産業廃棄物排出量の集計期間は2020年4月～2021年3月



## 環境活動の状況

項目	回数・日時	活動名	人数
安全	毎週	安全朝礼	全員
	毎月	安全衛生委員会	委員
	年1回	安全大会	全員
	年1回	緊急事態訓練	全員
地域貢献	2020/05/01	太田幹線排水路アプト活動	6名
	2020/08/06	「道の日」清掃活動	3名
	2020/09/02	建設業ふれあい事業(中学校)	1名
	2020/09/24	建設業ふれあい事業(小学校)	2名
	2020/10/09	建設業体験実習(高校)	1名

## 実績についての評価

### 【本社】

今年度はLPGの二酸化炭素排出量と一般廃棄物排出量が目標未達成となり、他の項目は総量で目標達成となりました。LPGについては、夏の時期の冷房の使用頻度が例年よりも多くなったことが主な要因です。一般廃棄物の排出量についても例年以上に多く排出している状況なので、ゴミの削減を更に徹底して取り組む必要があります。

また、社員教育については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年度は環境関連のセミナーに参加させることができませんでした。今後はオンライン形式のセミナー等も増えてくることが予想されるので、当社でもそのような状況に対応していく必要があります。

### 【現場】

今年度はガソリンの二酸化炭素排出量のみ目標達成となり、その他の項目は目標未達成となりました。未達成の要因としては、軽油は重機作業がメインの現場で重機がフル稼働していたこと、灯油はコンクリート打設がある現場で消費量が多かった為です。軽油・灯油・産業廃棄物については、受注した工事の内容によって消費量や排出量が違うので単純に比較することができないのですが、取り組みは継続して実施しています。

## 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1 取組結果の評価

表5 環境活動計画の主な取組内容と評価

項目		取組内容	評価
二酸化炭素	電 気	昼休み時間は必ず消す	○
		使っていない部屋の照明は必ず消す	○
		退社する時はパソコンの電源を必ず切る(モニターも含めて)	○
		冷暖房の設定温度を守る(冷房：28℃ 暖房：25℃)	△
	ガソリン 軽 油	車両のアイドリングストップを徹底する	○
		急発進・急加速・空ぶかしをしない	○
		冷暖房を控えめに使う	○
		必要の無い荷物は積まない	○
	灯 油 L P G	冷暖房の使用条件を守る(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下)	△
		クールビズ・ウォームビズを徹底する	○
廃棄物	一般 廃棄物	書類の内容を見直して枚数を少なくする	△
		両面印刷・両面コピーを徹底する	○
		裏紙の使用を徹底する	○
		スキャニングを徹底して書類をデータ化し、社内でも共有する	△
	産業 廃棄物	各種類の産業廃棄物の分別を徹底する	○
		一般のゴミが混ざらないよう、定期的にチェックする	○
適切に処理するよう、manifestの管理を徹底する	○		
排 水 量	節 水	水を出しっぱなしにしない	○
		蛇口・配水管の水漏れがないか確認する	○
		節水の表示をする	○
環境配慮工事の推進		周辺環境に対して、施工上の配慮事項を提案する	○
		排ガス対策・低騒音・低振動型の重機を使用する	○
グリーン購入		消耗品・事務用品はエコ商品を優先して購入する	○
社 員 教 育		朝礼・掲示板・メールを利用して社員に周知し、理解を深める	○
		環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める	△
地 域 貢 献		地元の学生のインターンシップを受け入れる	○
		地域や各協会の清掃活動等に積極的に参加する	○

○：評価できる △：まずまず評価できる

### 2 次年度の取組内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減  
引続き電気と冷暖房の使用に関係する取り組みを徹底して行う
- (2) 廃棄物の排出削減  
一般廃棄物（特に紙）の排出量の削減を徹底する
- (3) 節水  
水の出しっぱなしを減らすよう意識して取り組む
- (4) 環境配慮工事の推進  
引続き継続して実施する
- (5) グリーン購入  
引続きエコ商品を優先して購入することを徹底する
- (6) 社員教育  
オンライン型の環境関連のセミナーも利用しながら社員教育を行う
- (7) 地域貢献活動  
積極的に参加し、環境に対しての意識を高める

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について、遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情・訴訟等についても問題はありませんでした。

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
環境方針	概ね達成できている。	特になし。
環境目標	LPGの二酸化炭素排出量が過去最高となったことは改善しなければならない。	冷暖房の使用条件を守り、LPGの二酸化炭素排出量を徹底して削減すること。
環境活動計画及び環境経営システム	概ね達成できている。	次年度はオンライン型のセミナー等も利用しながら、社員教育を徹底すること。
その他	概ね達成できている。	今年度に購入した機器類を活用し、二酸化炭素排出量の削減に取り組むこと。
全体評価		
<p>今年度の結果を見ると本社では概ね目標は達成できているが、LPG消費量と一般廃棄物の排出量が例年よりも多い為、再度取り組みを徹底して改善すること。現場については受注した工事の内容で軽油・灯油の消費量及び産業廃棄物の排出量の増減が変わってくるが、工期を短縮して工事を完成することが二酸化炭素排出量の削減にも繋がる為、安全第一で引続き取り組みを徹底すること。また、今年度に導入した機器類を活用できるようになれば、コロナ禍の状況でも二酸化炭素排出量の削減ができると思うので、全員で活用できるように徹底して利用すること。</p>		